



【何を学んだ?!】「保健講話」を聞いて

今日も非常に暑い1日でした。体調管理はしっかりとできていますか。

終日授業は明日までで、来週からは午前授業となります。午後の過ごし方は決まっていますか？

生徒の皆さん、部活動に、受験勉強に、夏課題に、オープンキャンパスに、「目的」と「見通し」をもってこの夏を過ごそう。

保護者の皆様、来週の「三者懇談会」でお世話になります。また、これまでお子様の「愛情弁当」作りありがとうございます。

ここまでが前置きて、相変わらず本論に入るまでが長くなりました。お待たせいたしました。

本日本校では、学校薬剤師の方を講師にお招きして、『保健講話』を実施いたしました。講話の内容は、医薬品の誤った利用や栄養ドリンクの過剰摂取による健康被害でした。

暑い中でしたので、生徒の皆さんには少しでも快適な環境の方が講話に集中できると考え、エアコンの効いた教室でのオンラインでした。しっかりと聞いて、学ぶことができましたか？

私が教室の様子を見て回った際に、快適過ぎて集中力が切れそうになっていた人には私の方から、、、ということもごくわずかりましたが、メモを取りながらしっかりと聞いている様子が多く見られました。

講話の様子については、各学年1枚ずつ写真を掲載しました。ご覧ください。

最後に、講話終了後の生徒の感想を紹介します。

薬は適量を服用することによって最大限の効果が発揮される。
新しい薬の開発・利用までには多くの労力や負担がかかっている。

最後まで粘り強くお読みいただきましてありがとうございました。

写真・文 大垣南高等学校長の 種田昭彦（おいだ あきひこ）

